

平成24年度 清水あすなろ福祉会 法人本部事業報告

あすなろの家千葉施設長体制でのスタート、風の子保育園新園舎での保育スタート、とも
の家第二グループホーム SUN の運営開始と、大きな環境変化の中で迎えた24年度であ
ったが、それぞれに大過なく過ごせた1年間であった。

24年度計画を項目別に総括すると

1 法人の理念の継承と具体化

各施設における事業継続の内容の方向性は理事会への施設報告や討議の中で丁寧に論議さ
れており、理念に沿った事業が確実に行われている。

各施設の個々の職員への働き掛けは理事会として直接的には行われてはこなかったが、新
規採用職員への法人本部による新任者研修の開催という形で25年度方針に反映させるこ
ととなった。

2 理事会の経営責任をより明確にする

理事会運営方法の見直しにより、理事会での討議は一定の改善がみられ、活性化が図られ
た。また、こうした討議を通じて施設状況の理解や理事としての責任はより一層明確にな
ってきている。25年度においてもいちだんの理事会運営の改善を目指すこととなった。
理事長専決事項の原則に戻った運用はまだ十分にその責任が果たされていない。25年度
において一段の改善を図る必要がある。

事務局はこれまで慣行によって存在していたが、24年度において改めてその位置付けを
あきらかにし、公式に理事長補佐機能が明確になった。年間を通して定期的に会議が開催
されてきたが、会議内容を議事録等にして確認していくと言う点については実行に至らな
かった。事務局運営経費（法人本部経費）の予算化については25年度予算において、施
設の本部負担金として賦課方法も明確にして実現した。

3 法人の社会的存立基盤をより強固なものとする。

三施設共に、より地域に密着した運営が心がけられている。

経営的には、24年度において開催された経営協議会において経営分析を行い、現状を明
らかにすることはできた。25年度以降に引き続いて現状が将来においてどう変化するか
の予測を行い、経営の持続的発展の展望を作りださなければならない。

情報発信については23年度に立ち上げたホームページの改善が進められたがまだ十分な
内容にはいたっていない。25年度において引き続き改善を目指す。